

議案第 号

宝塚市立幼稚園の設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について

宝塚市立幼稚園の設置及び管理条例の一部を改正する条例を次のとおり制定するものとする。

令和3年（2021年） 月 日提出

宝塚市長 山崎晴恵

宝塚市条例第 号

宝塚市立幼稚園の設置及び管理条例の一部を改正する条例

宝塚市立幼稚園の設置及び管理条例（昭和39年条例第30号）の一部を次のように改正する。

別表中「 | 宝塚市立長尾南幼稚園 | 宝塚市山本南2丁目10番1号 | 」
を削る。

附 則

この条例は、令和5年4月1日から施行する。

議案第 号

宝塚市立幼稚園の設置及び管理条例の一部を改正する条例の制定について
宝塚市立幼稚園の設置及び管理条例(昭和39年条例第30号)新旧対照表
(現行)

別表(第2条関係)

名称	位置
宝塚市立丸橋幼稚園	宝塚市山本丸橋4丁目13番2号
宝塚市立長尾南幼稚園	宝塚市山本南2丁目10番1号

(改正案)

別表(第2条関係)

名称	位置
宝塚市立丸橋幼稚園	宝塚市山本丸橋4丁目13番2号

宝塚市立幼稚園の統廃合計画

～ 就学前教育の充実に向けて ～

一部抜粋

平成 29 年(2017 年)6 月 22 日

宝 塚 市 教 育 委 員 会

も く じ

第1章 市立幼稚園の統廃合（適正配置）について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
I 市立幼稚園の適正配置について・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II 統廃合の進め方・・・・・・・・・・・・・・・・	2
1 第1次統廃合計画 ～既に小規模化が著しい園～・・・・・・・・	2
(1) 良元幼稚園の廃園・・・・・・・・	2
(2) 中山五月台幼稚園の廃園・・・・・・・・	2
(3) 園児募集停止時期と廃園時期・・・・・・・・	3
(4) 市立幼稚園の廃園に伴う通園方法について・・・・・・・・	3
2 第2次統廃合計画 ～待機児童対策として復園した園～・・・・・・・・	4
3 第3次統廃合計画 ～園児数が適正規模を下回った状況が継続した園～・・・	5
第2章 市立幼稚園における3年保育の実施・・・・・・・・・・・・・・・・	6
＜参考＞	
1 第1次統廃合計画関係資料・・・・・・・・	7
2 第2次統廃合計画関係資料・・・・・・・・	7
宝塚市立幼稚園の適正規模及び適正配置に関する基本方針・・・	巻末

第1章 市立幼稚園の統廃合（適正配置）について

本市では、宝塚市立幼稚園の適正規模及び適正配置に関する基本方針（平成28年7月策定）に基づき、市立幼稚園の統廃合による適正化を進めることによって、全市的な就学前教育の充実を図る。

I 市立幼稚園の適正配置について

地域（ブロック）ごとの私立幼稚園の配置状況も踏まえ、現在の市立幼稚園12園を第1次統廃合計画で2園（良元幼稚園、中山五月台幼稚園）、第2次統廃合計画で1園（長尾南幼稚園）を統廃合し、以後、第3次統廃合計画で適正規模を下回る状況が継続する園を統廃合することで、右岸側2園、左岸側4園、西谷地域1園の合計7園の適正配置計画を進める。

	ブロック	概要	既存園名
右岸側	Iブロック 仁川・小林地区	仁川・小林地区は公立幼稚園、逆瀬川・宝塚南口地区は私立幼稚園を中心に配置されている。 公私立幼稚園の配置状況からも、仁川・小林地区に仁川幼稚園、未成幼稚園の2園を維持する。	良元幼稚園(第1次統廃合計画対象) 仁川幼稚園 未成幼稚園 私立1園
	IIブロック 逆瀬川・南口地区		西山幼稚園 私立4園
左岸側	IIIブロック 宝塚・売布地区	幼稚園への就園率が高い地域であり、私立幼稚園の定員充足率が高く、当該地域における公立幼稚園の受け入れ枠を確保するためにも宝塚幼稚園を維持する。	宝塚幼稚園 私立4園
	IVブロック 小浜・安倉地区	小浜地区では、隣接する宝塚・売布地区に通園可能な私立幼稚園がある一方、安倉地区には私立幼稚園がない。また、安倉幼稚園は、過去からも園児数が多く、就園希望者が一定していることから、安倉幼稚園を維持する。	小浜幼稚園 安倉幼稚園 私立1園
	Vブロック 山本・丸橋地区	就園希望者数はピーク時と比較すると減少したが、その後維持しているほか、長尾南幼稚園の廃園後の受け入れ先として必要であることから、丸橋幼稚園を維持する。	長尾南幼稚園(第2次統廃合計画対象) 丸橋幼稚園 私立1園
	VIブロック 長尾・雲雀丘・中山台・山手台地区	雲雀丘地区は私立幼稚園が充実しているが、山手台地区、長尾地区には私立幼稚園がなく、中山五月台幼稚園、長尾南幼稚園の廃園後の受け入れ先として、平成25年に新築した長尾幼稚園を維持する。	長尾幼稚園 中山五月台幼稚園(第1次統廃合計画対象) 私立3園
	VIIブロック 西谷地区	西谷幼稚園は認定こども園として運営しており、今後、幼稚園のあり方については、認定こども園の運営形態も含めて検討する。それまでの間は、西谷幼稚園を維持する。	西谷幼稚園 私立0園

2 第2次統廃合計画 ～待機児童対策として復園した園～

待機児童対策として復園した長尾南幼稚園については、平成34年度(2022年度)に入園する4歳児(2年保育)の園児募集(平成33年(2021年度)10月実施予定)は行わず、平成35年度(2023年度)に廃園する。ただし、第1次統廃合計画の影響による長尾幼稚園・丸橋幼稚園の就園状況を勘案し、廃園の時期については、適宜見直しを行う。

(1) 長尾南幼稚園の廃園

園児数の減少に伴い、平成8年度(1996年度)に廃園したものの、長尾地区の就園人口増加に伴う市立幼稚園の待機児童解消のため、平成12年度(2000年度)に復園した経緯がある。しかしながら、平成17年度(2005年度)をピークに園児数は減少傾向に転じ、現在は長尾幼稚園の移転新築により、保有保育室数が増えたこともあり、長尾地区の3園(長尾幼稚園、丸橋幼稚園、長尾南幼稚園)の定員充足率が低下している。

このようなことから、待機児童を解消するとした復園目的は達成したことから長尾南幼稚園を廃園する。

(2) 園児募集停止時期及び廃園時期

中山五月台幼稚園の廃園に伴う影響等を見極めるため、第1次統廃合計画から2年を経過した平成32年(2020年)10月に実施する平成33年度(2021年度)の入園児募集までは通常通り実施し、平成33年(2021年)10月に実施する平成34年度(2022年度)の4歳児(2年保育)の入園児募集は停止する(4歳児(2年保育)の休級)。その後、平成34年度(2022年度)末をもって、長尾南幼稚園を廃園する。ただし、園児募集停止の平成33年度(2021年度)時点で、長尾幼稚園及び丸橋幼稚園の両園において、長尾南幼稚園廃園後の受け入れが十分に出来ない可能性が生じた場合は、募集停止時期を延期するなど、待機児童が生じないように適切に対応する。

【園児募集停止時期と廃園時期】

年 度	H29 (2017)	H30 (2018)	H31 (2019)	H32 (2020)	H33 (2021)	H34 (2022)	H35 (2023)
園児募集 ※該当生年月日	○ H25.4.2 ~26.4.1	○ H26.4.2 ~27.4.1	○ H27.4.2 ~28.4.1	○ H28.4.2 ~29.4.1	× H29.4.2 ~30.4.1	× H30.4.2 ~31.4.1	廃園
4歳児	入園	入園	入園	入園	入園	休級	
5歳児	在園	在園	在園	在園	在園	在園	

※各年度の「※該当生年月日」の期間に産まれた幼児が、その年度の10月に実施する4歳児(2年保育)の園児募集(翌年度入園)の対象となる。

宝塚市長尾南幼稚園の園児数の推移

各年度5月1日時点(単位:学級、人)

令和3年度は入園式時点(単位:学級、人)

年齢	年度																			
	H24 (2012)		H25 (2013)		H26 (2014)		H27 (2015)		H28 (2016)		H29 (2017)		H30 (2018)		R1 (2019)		R2 (2020)		R3 (2021)	
4歳児	2	47	2	49	2	40	2	39	2	36	2	35	2	36	1	25	1	14	1	12
5歳児	2	46	2	53	2	50	2	46	2	40	2	40	2	41	2	38	1	26	1	14
計	4	93	4	102	4	90	4	85	4	76	4	75	4	77	3	63	2	40	2	26